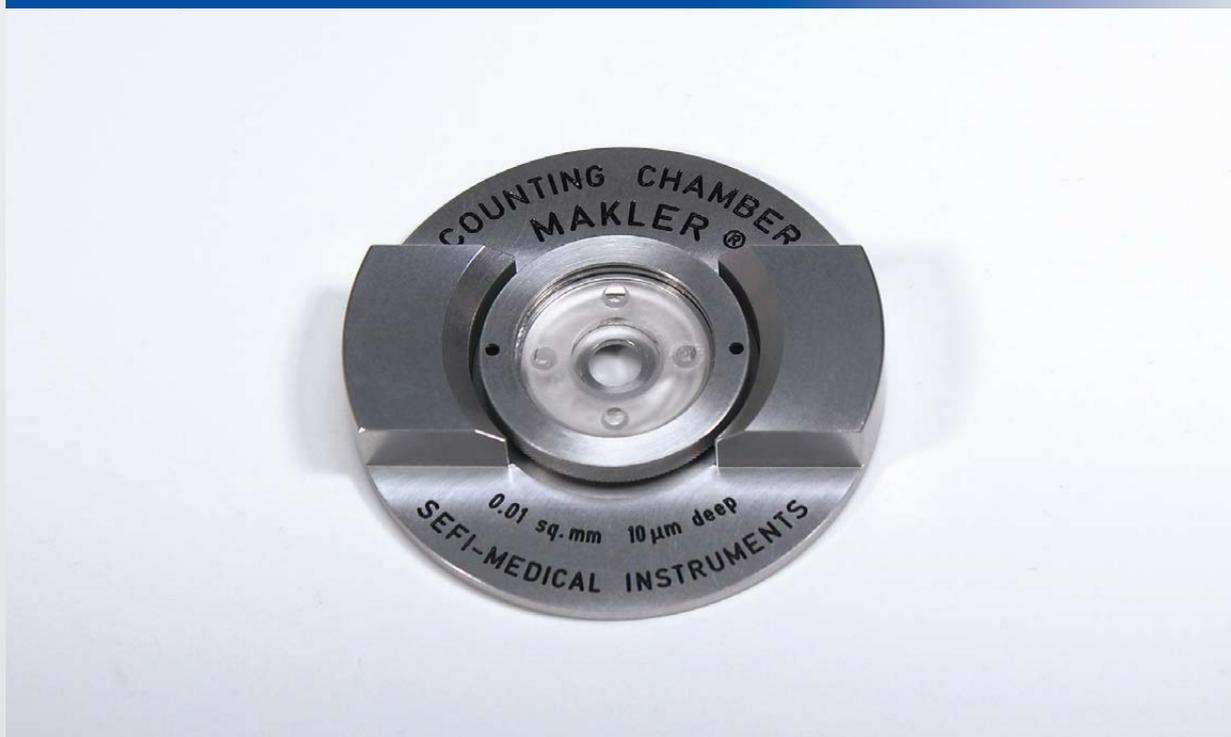




マクラー精子 カウントチャンバー



精子観察のスタンダードデバイスです。

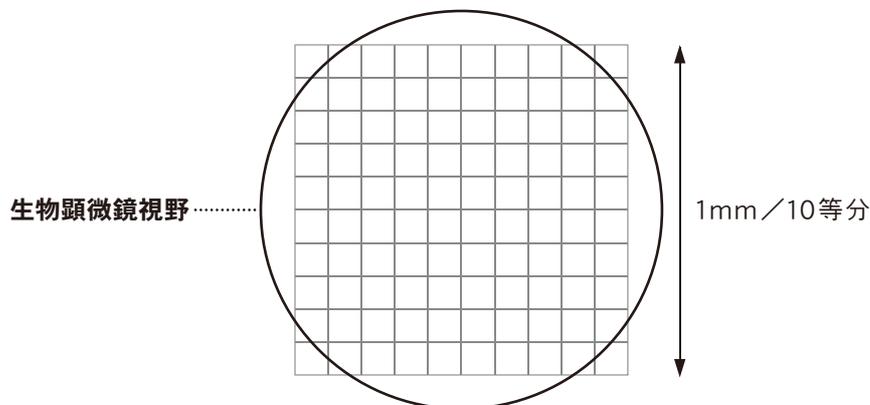
- 濃縮後の精液でも希釈をせずに、正確かつスピーディに測定ができます。
- チャンバーを浅い設定(10 μ m)にすることで焦点範囲が広くぼけが少ないため、顕微鏡での観察に適しています。
- カバーガラスにはグリッドが刻まれているので、方眼接眼マイクロメーターの必要がありません。
- お手入れが簡単で、繰り返しご利用できます。



カバーガラス グリッド付

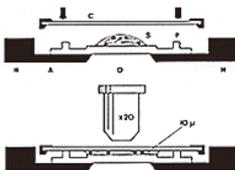
カタログ番号	品名	規格	備考
SM-MAK	マクラー精子カウントチャンバー	1台	グリッド付カバーガラス入り
MAK-GLAS	カバーガラス グリッド付	1個	

マクラー精子カウントチャンバー



使用方法

液状化した精液(原液)を泡立てないように注意しながらよく攪拌した後、その1滴をチャンバーの中央にのせ、カバーガラスをかけます。20倍の対物レンズ(チャンバーの厚みのために40倍は使用不可)と10倍の接眼レンズを用いて200倍で検鏡します。



精子濃度 (精子数/ml)

格子の横一列すなわち正方形10個中の精子数をカウントする。これを1列行い(または2列行い平均を取る)、この値に 10^6 を掛けると精子濃度(精子数/ml)となります。精子が少ない場合は格子全体(正方形100個中)の精子数をカウントし、この値に 10^5 を掛けます。

精子運動率

正方形9個(3×3)または16個(4×4)中の不動精子数、運動精子数を数え、以下の式より「精子運動率」を求めることができます。

$$\frac{\text{運動精子数}}{\text{不動精子数} + \text{運動精子数}} \times 100$$

必要であれば運動の程度を下記カテゴリ「a~d」に分類してその比率を求めます。

参考

精子検査正常値 (WHOマニュアル)

精液量	2.0ml以上
精子濃度	2000万/ml以上
総精子数	4000万以上
精子運動率	50%以上
正常形態精子	30%以上

精子運動の分類 (WHOマニュアル)

- 早く前進 (rapid progressive motility)
- ゆっくりと前進 (slow or sluggish progressive motility)
- 動くが前進しない (nonprogressive motility)
- 動かない (immotility)

※記載の仕様等は、予告なく変更される場合があります。写真と実際の製品とは若干異なる場合があります。

販売代理店

販売元



株式会社ナカメディカル

〒190-0012 東京都立川市曙町1-18-2 一清ビル別館
Tel.(042)529-9313 Fax.(042)529-9517

<http://www.nakamedical.co.jp>

製造元



Sefi-Medical Instruments Ltd.

(201602003000)